



なっとくんの

# なるほどなっとくニュース

Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

## しみずし せいきようじ せいぎれいしゃ 清水氏と清鏡寺、正義霊社

ひかりしあさえ たての  
光市浅江、立野



1582年、織田信長の命令で羽柴秀吉（のちの豊臣秀吉）が毛利氏の家臣だった清水宗治の守る備中高松城（現在の岡山県岡山市）を攻めました。秀吉は川の水を引き、高松城のまわりを水没させて包囲したことから、この戦いは「高松城の水攻め」とも呼ばれています。



この戦いで、宗治は自らの命と引き換えに秀吉と和ぼくし、毛利氏と城内の兵を救いました。宗治の子、景治は、毛利氏が萩に移った後、現在の光市の領主となります。



景治は、光市浅江の寺を高松山清鏡寺と改名し、宗治とむらいました。清鏡寺には、宗治とその家臣の供養塔があります。（写真1, 2）  
また、光市立野に宗治をまつる神社（のちの正義霊社）を建てました。（写真3）

正義霊社には、「禁門の変」の責めを負わされ、1865年に無念の死を遂げた清水親知もまつられています。  
親知の父、親春は第二奇兵隊の総督として幕府軍と対決した「大島口の戦い」（写真4）を指揮し、勝利をおさめました。  
正義霊社の参道には、親春の墓（写真5）があります。



レッツ チャレンジ！  
光市文化センターには、清水氏の資料が展示されています。もうすぐ冬休み、自分の住んでいる地域の歴史について調べてみましょう。